**誌上学習会　2023年12月号　自宅学習のすすめ　29**

 「通じない。どう手話表現したらよいの？」

ろう者と会話している時に、思わぬ「ずれ」に戸惑う経験はありませんか？

今回は日常の場面から、なぜ「ずれ」てしまったのかについて一緒に学びます。

先ずは、例文を読んで自分なりに表現を考えてみましょう。

動画は、①「ずれ」のある会話、②「ずれ」た理由を解説、③「ずれ」のない会話の

3つで1セットです。

例文1　「～しなきゃだめ」　　　　Aさん(ろう者)　Bさん（聴者）

A ：　ねえ この薬 いつ 飲めばいいの?

B　：　「食前」って書いてあるから、ご飯を食べる前に飲まなきゃいけないよ。

A　：　わかった。ありがとう。

　　　　　　（ご飯を食べている。薬は置いたまま）

B　：　ご飯を食べる前に飲んだ？

A　：　飲んでないよ。だって、さっき飲んじゃダメって言ったじゃん。

B　：　？？？

☆解説　　　動画①のBさんは「飲む/（口形「しなきゃ」）/だめ」と表現しています。

Aさんは「～してはいけない」という意味にうけとり、

「だめ！うん。わかった。飲まない。」となったわけです。

　　　　　　　「～しなきゃだめ（～しなくてはいけない、～しないといけない）」の意味は、

「する必要がある」ということです。では手話表現は？

例文2「これしかない」　　　　　Aさん(聴者)　Bさん（ろう者）

A　　　：　何食べる？

B　　　：　ケーキセット。

店員　：　ケーキセットは、イチゴケーキセットのみとなっています。

A　　　：　ケーキセットは、イチゴケーキセッしかないんだって。

B　　　：　わかった。チーズケーキにする。

A　　　：　？？？

☆解説　　動画①のAさんの表現は「イチゴケーキセット/だけ（口形「しか」）/ない」。

Bさんは「イチゴはない。」という意味にうけとり「それならチーズを食べよう」

と答えたのです。

「これしかない」の意味は「これだけがある（、他はない）。」です。

では手話表現は？

💡ポイント　　日本語の単語をそのまま手話に置き換えてしまいがちです。意味にあった手話表現を、シャドウイング練習（動画③）をして身につけていきましょう。